

2024年3月期 決算説明会

1. 当期決算の概要(連結)
2. 次期業績見通し

2024年5月15日

日本光電工業株式会社

証券コード : 6849

<https://www.nihonkohden.co.jp>

Fighting Disease with Electronics

 NIHON KOHDEN

1

当期決算の概要(連結)

1) 当期の決算概要

	前期 2023/3	当期 2024/3			対前期 増減率(%)
		期初予想	11月8日修正	実績	
売上高	206,603	215,000	221,500	221,986	7.4
国内売上高	135,734	139,500	142,000	142,370	4.9
海外売上高	70,869	75,500	79,500	79,615	12.3
売上総利益 (売上総利益率)	105,926 51.3%	109,000 50.7%	112,500 50.8%	111,346 50.2%	5.1
営業利益 (営業利益率)	21,120 10.2%	21,500 10.0%	22,200 10.0%	19,591 8.8%	△ 7.2
経常利益	24,122	21,500	24,000	25,589	6.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	17,110	14,500	15,500	17,026	△ 0.5
平均レート	(2023/3)	(2024/3)	(2024/3)	(2024/3)	
1米ドル	134.6円	125円	139円	143.9円	
1ユーロ	141.0円	139円	151円	156.8円	

(単位:百万円、単位未満切捨て)

為替影響除く: +5%
(為替・決算期変更影響*除く: +3%)

自社品 2023/3 2024/3
売上高比率: 72.4% → 73.5%

販管費: 848億円 → 917億円
販管費比率: 41.1% → 41.4%

為替差益: 2,386百万円 → 5,370百万円

特別利益: 退職給付制度改定益 4,038百万円

法人税等: 7,606百万円 → 12,342百万円

※米国子会社再編に伴い、デフィブテック社の決算日を12月31日から3月31日に変更しています。当第4四半期連結累計期間は、2023年1月1日から2024年3月31日までの15ヵ月決算を連結しています。

NIHON KOHDEN

© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

2

- 売上高は、7.4%増の2,219億円となりました。
国内売上高は4.9%増の1,423億円、海外売上高は12.3%増の796億円、
為替とデフィブテック社の決算期変更の影響を除くと、3%の増加となりました。
- 粗利率は、在庫の評価減が増加し、1.1%ポイント減の50.2%となりました。
- 営業利益は、粗利率の低下と販管費の増加により、7.2%減の195億円となりました。
- 経常利益は為替差益の計上により、6.1%増の255億円、純利益は退職給付制度改定益を特別利益に計上した一方で、一部子会社での税引前当期純損失の影響により税負担率が上昇し、0.5%減の170億円となりました。

2) 当期の取り組み

- ✓ 国内は、消耗品・サービス、ITシステム商談が好調に推移
- ✓ 海外は、現地通貨ベースで欧州が減収。北米、中国が計画未達
- ✓ 粗利率は、工場、北米を中心に在庫の評価減が増加したことから低下
- ✓ 販管費は、人員の増強や研究開発投資により増加

売上高は過去最高を更新するも、営業利益は減益

	22/3期実績	23/3期実績		24/3期実績	24/3期目標値
海外売上高比率	33.5%	34.3%	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 円安効果・決算期変更の影響 ✓ 北米、中国で期初計画を下回る 	35.9%	32.0%
消耗品・サービス売上高比率	44.2%	47.3%	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 国内外で消耗品が好調に推移 ✓ 医療機器の設置工事・保守サービスも好調に推移 	47.9%	48%以上
売上総利益率	53.2%	51.3%	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 在庫評価減が増加 	50.2%	50%以上
(ご参考) 自社品売上高比率	72.7%	72.4%		73.5%	

NIHON KOHDEN

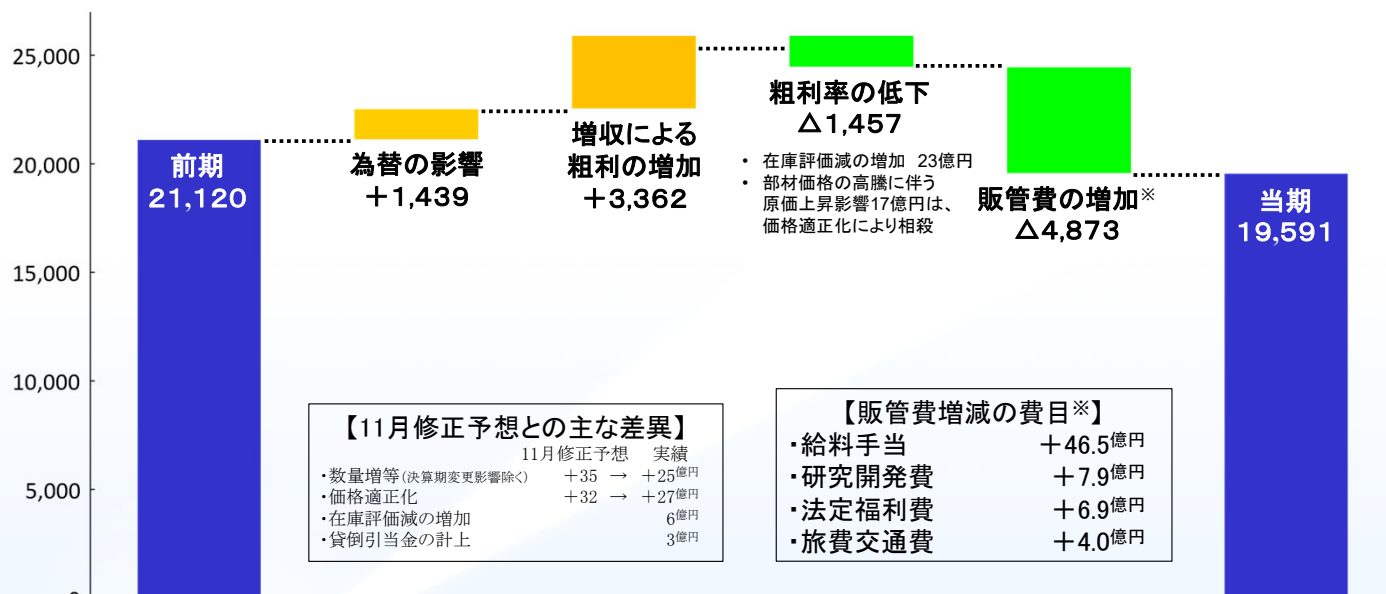
© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

3

- 国内では、消耗品・サービス、ITシステム商談が好調に推移した一方、海外では、現地通貨ベースで欧州が減収となり、北米、中国が計画未達となりました。
- 利益面では、実質売上の計画未達、粗利率の低下に加え、販管費も増加したことから、営業利益は減益となりました。

3) 営業利益増減の要因分析

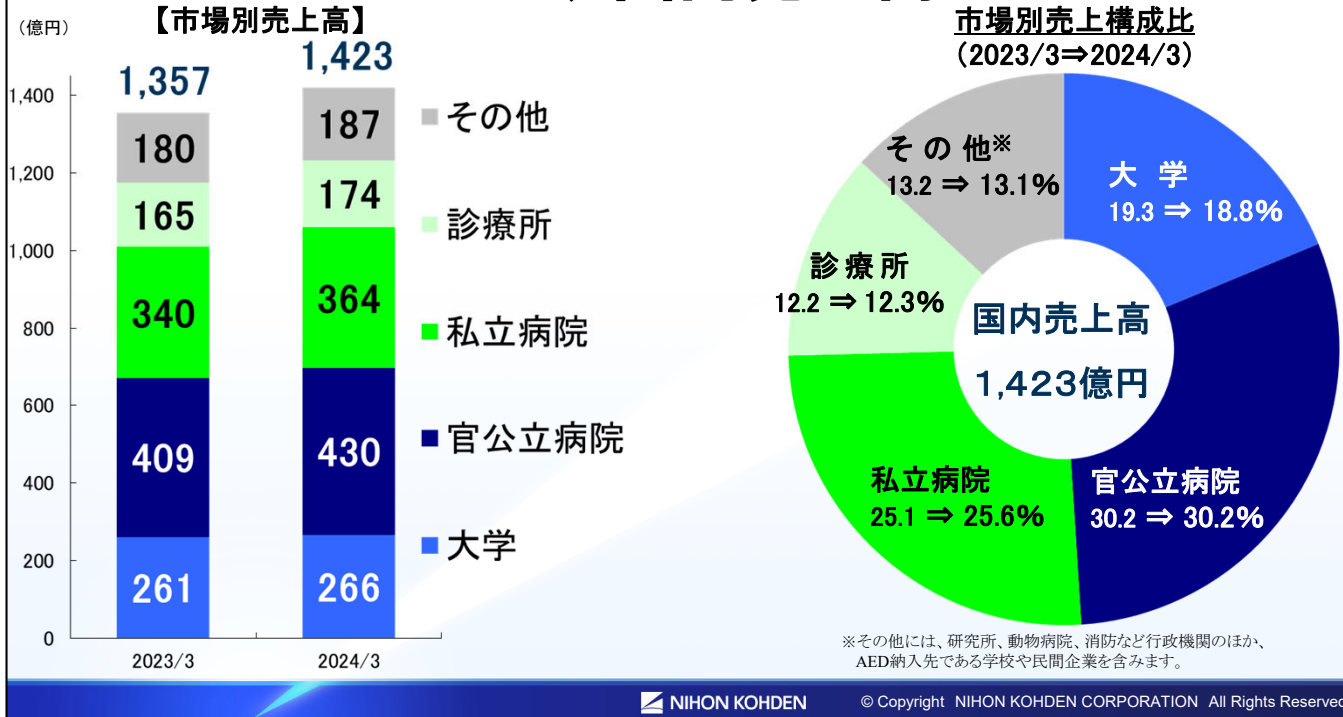
(単位:百万円)



※「販管費の増加」は為替の影響を除いた営業利益増減要因としての金額、「販管費増減の費目」は円建ての販売費及び一般管理費のうち主な増減金額を表しています。

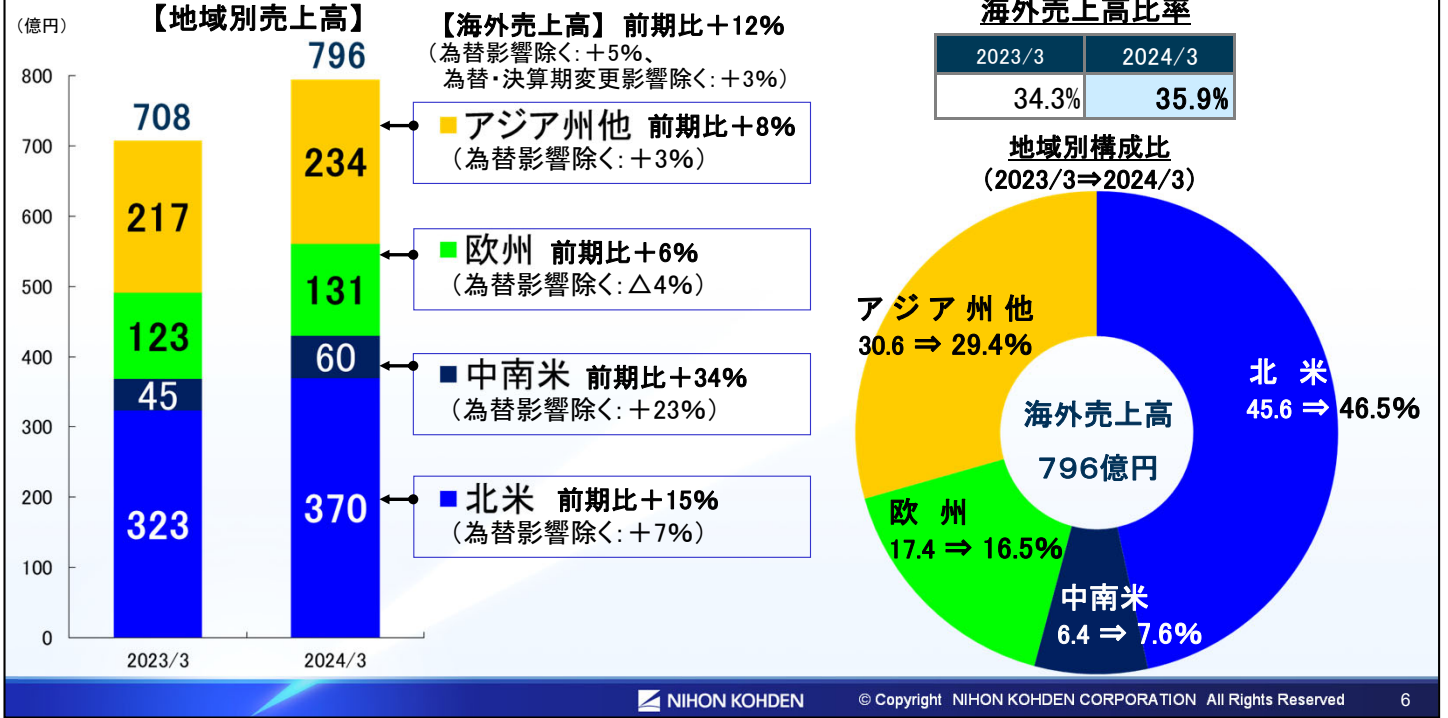
- 営業利益が、前期の211億円から195億円に減少した要因について、ご説明します。
- 為替の影響は、14億円のプラス要因となりました。
- 増収による粗利の増加は、33億円となりました。
- 粗利率の低下は、14億円のマイナス要因となりました。このうち、在庫評価減の増加影響が23億円程度でした。部材価格の高騰に伴う原価上昇影響は17億円程度ありましたが、価格適正化の取り組みにより相殺できました。
- 販管費は、人員の増強や研究開発投資等により、48億円のマイナス要因となりました。

4) 国内売上高



- 国内売上高は、66億円増の1,423億円となりました。
- 医療機関における検査・手術件数が増加傾向にある中、消耗品・サービス事業の強化に注力した結果、全ての市場、全ての商品群で売上を伸ばすことが出来ました。
- 部材価格の上昇を受けた価格適正化の取り組みも増収に寄与しました。
- 市場別では、ITシステム商談が売上をけん引し、官公立病院、私立病院市場が好調に推移しました。診療所市場も好調だったほか、大学市場も堅調に推移しました。

5) 海外売上高



- 海外売上高は、88億円増の796億円となりました。
- 米国子会社再編に伴うデフィブテック社の決算期変更の影響や円安効果もあり、二桁成長となりました。
- 米国事業再編が完了したことから、米州を北米と中南米に分けて開示しています。
- 北米は47億円増の370億円、現地通貨ベースでは7%増加しました。生体情報モニタは前期を下回りましたが、治療機器が大幅増収となりました。
- 中南米は15億円増の60億円、現地通貨ベースでは23%増加しました。コスタリカで大口商談を受注したほか、メキシコ、コロンビアが好調に推移しました。
- 欧州は8億円増の131億円、現地通貨ベースでは4%減少しました。オランダ、イタリアは好調でしたが、ロシア、ドイツが減収となりました。
- アジア州他は17億円増の234億円、現地通貨ベースでは3%増加しました。モロッコでの大口商談の受注もあり、中近東・アフリカの売上が大きく伸びたほか、台湾、ベトナムも好調に推移しました。中国は、第3四半期からの反腐敗運動の影響もあり減収となりました。

6) 商品群別売上高

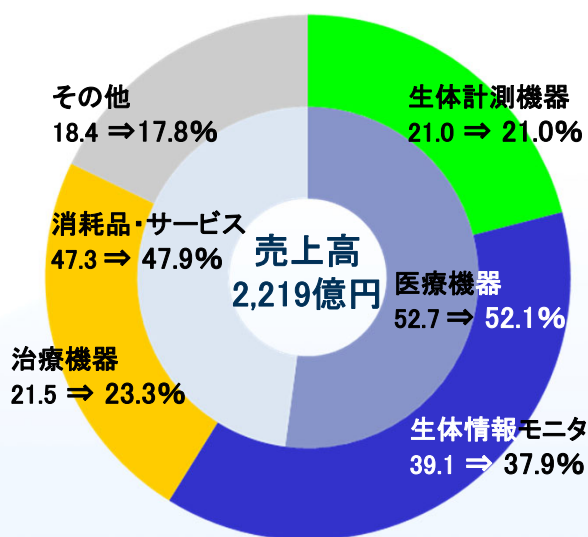
	前期 2023/3	当期 2024/3	増減率 (%)
生体計測機器	43,287 (45%)	46,517 (46%)	7.5
生体情報モニタ	80,815 (62%)	84,130 (60%)	4.1
治療機器	44,463 (45%)	51,665 (43%)	16.2
その他	38,036 (44%)	39,673 (43%)	4.3
売上高合計	206,603 (51%)	221,986 (50%)	7.4

(参考)

医療機器	108,904 (51%)	115,638 (50%)	6.2
消耗品・サービス	97,699 (51%)	106,347 (50%)	8.9

※ 表の括弧内は、売上総利益率を示しています。

商品群別売上構成比
(2023/3⇒2024/3)



- 商品群別の売上高の状況は、ご覧のとおりです。
- 消耗品・サービスは、8.9%増の1,063億円となりました。国内、海外ともに、消耗品・サービス事業に注力した結果、売上を伸ばすことが出来ました。
- 商品群別の粗利率は、ご覧のとおりです。

6.1) 生体計測機器

	前期 2023/3	当期 2024/3	増減率(%)
脳神経系群	9,299	10,032	7.9
心電計群	6,817	6,656	△ 2.4
心臓カテーテル検査装置群	16,026	17,163	7.1
診断情報システム群	6,029	7,106	17.9
その他*	5,114	5,558	8.7
生体計測機器合計	43,287	46,517	7.5
うち国内売上高	33,235	35,745	7.6
うち海外売上高	10,052	10,771	7.2

(単位:百万円)

診断情報システムが二桁成長。脳神経系群は筋弛緩モニタリング専用筋電図電極がけん引し二桁成長。心臓カテーテル検査装置群は好調。心電計群も堅調に推移。

脳神経系群が欧州、アジア州他で好調に推移。心電計群はアジア州他、欧州で減収。

※その他には、他社製の生体計測機器を含みます。



NIHON KOHDEN

© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

8

- 「生体計測機器」は、全体で7.5%増の465億円となりました。
- 国内は、7.6%増の357億円となりました。診断情報システムに加え、脳神経系群も筋弛緩モニタリング用の筋電図電極が売上をけん引し、二桁成長となりました。心臓カテーテル検査装置群が好調だったほか、心電計群も堅調に推移しました。
- 海外は、7.2%増の107億円となりました。脳神経系群が、底堅い需要により、欧州、アジア州他で好調に推移しました。心電計群は、アジア州他、欧州で減収となりました。

6.2) 生体情報モニタ

	前期 2023/3	当期 2024/3	増減率 (%)
生体情報モニタ合計	80,815	84,130	4.1
うち 臨床情報システム群	5,597	7,093	26.7
うち 国内売上高	45,606	47,289	3.7
うち 海外売上高	35,209	36,840	4.6

(単位:百万円)

臨床情報システムが大幅増収。センサ類など消耗品も堅調に推移。送信機、ベッドサイドモニタは前期を下回る。

中南米では、大口商談の受注もあり大幅増収。欧州、アジア州他では、円ベースで増収も、現地通貨ベースで減収。北米では、前期を下回る。



NIHON KOHDEN

© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

9

- 「生体情報モニタ」は、全体で4.1%増の841億円となりました。
- 国内は、3.7%増の472億円となりました。大口商談の受注もあり、臨床情報システムの売上が大きく伸びたほか、センサ類など消耗品も堅調でした。送信機、ベッドサイドモニタは、コロナ関連需要の反動により前期を下回りました。
- 海外は、4.6%増の368億円となりました。中南米では、大口商談の受注もあり、売上が大きく伸びました。欧州、アジア州他では、円ベースで増収となったものの、現地通貨ベースでは減収となりました。北米も前期を下回りました。

6.3) 治療機器

	前期 2023/3	当期 2024/3	増減率(%)	(単位:百万円)
医科向け除細動器	8,850	8,878	0.3	【国内】更新商談の受注により好調に推移。 【海外】中南米、アジア州他で減収。
A E D	20,068	25,385	26.5	【国内】画面付きAEDや消耗品が好調。 【海外】全ての地域で好調に推移。
ペースメーカー・ICD	2,310	2,573	11.4	
人工呼吸器	5,581	6,964	24.8	【国内】前期を下回る。 【海外】北米、中南米、アジア州他で好調。 北米では、マスク型人工呼吸器が大幅増収。
その他	7,651	7,863	2.8	
治療機器合計	44,463	51,665	16.2	
うち国内売上高	25,834	27,135	5.0	
うち海外売上高	18,628	24,530	31.7	
(参考) AED販売台数	118,600台	132,300台	11.6	
うち国内販売台数	50,000台	46,000台	△ 8.0	



除細動器
EMS-1052



オートショック
AED-3250



心臓ペースメーカー
Zenex MRI



人工呼吸器
NKV-550/440/330

NEW!



AsisTIVA

全静脈麻酔支援シリンジポンプ
制御ソフトウェア ROP-1680

NEW!



自動心臓マッサージ
装置 RMU-N2000

NIHON KOHDEN

© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

10

- 「治療機器」は、全体で16.2%増の516億円となりました。国内は5%増の271億円、海外は31.7%増の245億円となりました。
- 医科向け除細動器は、国内は更新商談の受注により好調に推移したものの、海外では、前期に大口商談があった中南米、アジア州他で減収となり、0.3%増の88億円となりました。
- AEDは、販売台数が全体で132,300台、売上は26.5%増の253億円となりました。国内では、画面付きAEDや消耗品が好調に推移しました。海外では、決算期変更の影響を除いても、全ての地域で好調に推移しました。
- 人工呼吸器は、24.8%増の69億円となりました。国内は、コロナ関連需要の一服により、前期を下回りました。海外は、北米、中南米、アジア州他で好調に推移しました。北米では、マスク型人工呼吸器が大幅増収となりました。

6.4) その他

	前期 2023/3	当期 2024/3	増減率(%)
検体検査装置	11,534	12,246	6.2
画像診断装置他 [※]	26,501	27,427	3.5
その他合計	38,036	39,673	4.3
うち国内売上高	31,057	32,200	3.7
うち海外売上高	6,979	7,473	7.1

(単位:百万円)

医療機器の設置工事・保守サービス、検体検査装置・試薬が好調に推移。現地仕入品は減収。

アジア州他で検体検査装置・試薬が好調に推移。

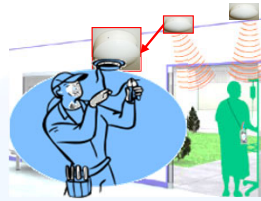
※他の商品群に分類されない、消耗品や設置工事・保守サービスを含みます。



全自動血球計数器
MEK-9200



全自動血球計数・
赤血球沈降速度測定装置
MEK-1305



設置工事・保守サービス

NIHON KOHDEN

© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

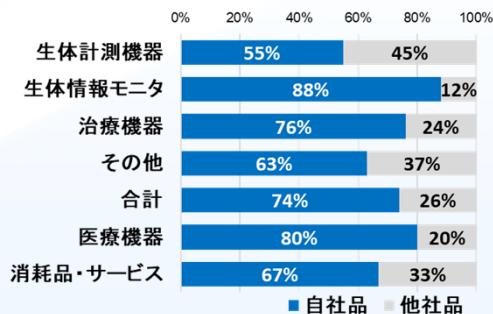
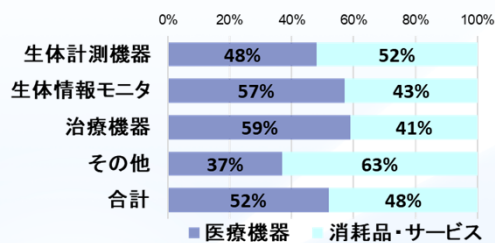
11

- 「その他商品群」におきましては、全体で4.3%増の396億円となりました。
- 国内は、3.7%増の322億円となりました。医療機器の設置工事・保守サービスや検体検査装置・試薬が好調に推移しました。
- 海外は、7.1%増の74億円となりました。アジア州他で、検体検査装置・試薬が好調に推移しました。

[参考] 商品群別地域別売上高・構成比

(単位:億円、単位未満切捨て)

	合計	国内	海外				
			計	北米	中南米	欧州	アジア州他
生体計測機器	465 (+8%)	357 (+8%)	107 (+7%)	43 (+19%)	4 (△7%)	18 (+10%)	42 (△2%)
生体情報モニタ	841 (+4%)	472 (+4%)	368 (+5%)	218 (△1%)	29 (+93%)	46 (+9%)	74 (+2%)
治療機器	516 (+16%)	271 (+5%)	245 (+32%)	102 (+75%)	16 (+3%)	54 (+9%)	71 (+17%)
その他	396 (+4%)	322 (+4%)	74 (+7%)	7 (△4%)	10 (+11%)	11 (△17%)	46 (+16%)
売上高合計	2,219 (+7%)	1,423 (+5%)	796 (+12%)	370 (+15%)	60 (+34%)	131 (+6%)	234 (+8%)



7) 財政状態

(単位:百万円)

	前期末 2023/3	当期末 2024/3	増減額		前期末 2023/3	当期末 2024/3	増減額
流動資産	172,500	184,333	11,833	流動負債	46,568	49,901	3,333
棚卸資産	58,790	57,787	△ 1,002	有利子負債	403	579	176
有形固定資産	24,446	25,418	972	固定負債	2,555	2,249	△ 306
無形固定資産	4,221	4,852	630	純資産	167,604	181,082	13,478
投資その他資産	15,560	18,628	3,068				
資産合計	216,728	233,233	16,504	負債・純資産合計	216,728	233,233	16,504
棚卸資産回転月数	7.0ヵ月	6.3ヵ月		自己資本比率	77.3%	77.6%	

【流動資産の増加の理由】

- ・ 営業活動による収入等から、現金及び預金が増加 **+26億円**
- ・ 前期に比べて期末の売上高が大きかったこと等から、売掛金が増加 **+67億円**

【流動負債の増加の理由】

- ・ 未払法人税等が増加 **+24億円**

- 財政状態につきましては、現金および売掛金の増加等により、総資産が165億円増加し、2,332億円となりました。
- 棚卸資産につきましては、回転月数が6.3ヵ月となりました。

8) キャッシュ・フロー

(単位: 百万円)

	前期 2023/3	当期 2024/3	増減額
I 営業CF	△ 2,513	15,607	18,121
II 投資CF	△ 7,647	△ 5,208	2,439
FCF	△ 10,161	10,398	20,560
III 財務CF	△ 7,485	△ 6,968	517
換算差額	1,539	2,458	919
増減額	△ 16,107	5,889	21,997
期末残高	43,988	49,877	5,889
ROE	10.6%	9.8%	

	2023/3	2024/3	増減
税金等調整前当期純利益	24,716	29,369	+4,652
棚卸資産の増減額(増加:△)	△8,590	3,859	+12,450
法人税等の支払額	△10,322	△6,495	+3,827
有形固定資産の取得による支出	△7,458	△3,626	+3,831
自己株式の取得による支出	△1,001	△1,124	△123
配当金の支払額	△5,733	△5,968	△234

- 前期は、部品供給のひっ迫に対応するため、在庫を積み増したことから、営業キャッシュ・フローがマイナスとなりましたが、当期は、プラスを確保することが出来ました。
- 期末残高は、前期末から58億円増加し、498億円となりました。
- 引き続き、在庫水準の適正化、債権回収の早期化により、キャッシュ・フローの改善に取り組めます。
- ROEは、9.8%となりました。

9) 設備投資と研究開発費

(単位:百万円)

	前期	当期 2024/3		実績	増減額 (年度比較)	次期計画	増減額 (年度比較)
	2023/3	期初計画	前回計画※			2025/3	
設備投資額	8,294	5,000	5,000	4,978	△ 3,315	10,300	5,321
減価償却費	3,675	4,100	4,000	3,704	28	4,500	795
研究開発費	6,200	7,200	7,200	6,996	796	7,500	503

※2023/11/8 第2四半期決算発表時の予想数値

●設備投資の実績

新製品の「型」、計測器・治具、販促用製品、IT投資、工場生産設備

インド 試薬新工場の建設 総投資額:約14億円 < 23/3:10億円 24/3:4億円 着工:2022年9月 完成:2023年9月 稼働開始:2024年夏予定

●2025/3設備投資計画

新製品の「型」、計測器・治具、販促用製品、工場生産設備

PLM/MES※システムの導入 設備投資額:約30億円 < 23/3:3億円、24/3:5億円 25/3:11億円、26/3:11億円 PLM/MES:2026/3稼働予定

鶴ヶ島新工場の建設 総投資額:約115億円 < 23/3:23億円(土地取得) 25/3:40億円、26/3~:52億円(建屋・設備等) 着工:2024年7月 完成:2025年末 稼働開始:2026年予定

※PLM(Product Life-cycle Management):製品ライフサイクル管理、MES(Manufacturing Execution System):製造実行システム。

- 設備投資は49億円となりました。インド試薬新工場の建設、鶴ヶ島新工場の土地取得を行った前期から33億円減少しました。
- 減価償却費は37億円となりました。
- 研究開発費は、生体情報モニタや治療機器を中心に、新製品開発に注力し、前期比7億円増の69億円となりました。
- 次期につきましては、設備投資は53億円増の103億円、減価償却費は8億円増の45億円、研究開発費は5億円増の75億円を見込んでいます。埼玉県鶴ヶ島市に消耗品の新工場の建設を進めます。

2

次期業績見通し

1) 経営環境

欧米での金融引き締め、地政学リスクの高まりもあり景気先行きは不透明
インフレや人件費の上昇による医療機関の経営への影響を引き続き注視

国内

医療従事者の確保、働き方改革の推進

- 2024年6月 診療報酬改定:本体+0.88%増賃上げのため基本料等を引上げ、医療DX・感染症対策、タスクシフトの推進

地域包括ケアシステムの深化、医療機能の分化・強化、連携

- 地域医療介護総合確保基金 2024年度1,029億円(医療)

2024年度からの働き方改革に向けた取り組みが本格化、各都道府県は次期地域医療構想を策定予定

海外

欧米諸国

- 医療機関の経営は改善傾向も、医療機器の設備投資には慎重な動き
- 医療DX・医療IT需要の高まり
- 人工呼吸器市場からの海外企業の撤退

新興国

- 中国で経済成長の鈍化、反腐敗運動
- 各国で保護主義の動き
- 医療機器に関する規制強化への対応

- 経営環境としては、欧米での金融引き締めや、地政学リスクの高まりもあり、景気の先行きは不透明な状況で推移すると見えています。
- 国内では、医師の働き方改革に向けて、業務の効率化が一層進められる見込みです。
- 海外では、医療機関の経営は改善傾向にあるものの、インフレの影響もあり、医療機器の設備投資には慎重な動きが見られます。新興国では、保護主義的な政策や医療機器に関する法規制強化の動きが強まっています。
- こうした環境の変化と医療の質向上や効率化といった医療機関のニーズへの迅速かつ柔軟な対応が求められ、厳しい経営環境が続くと予想しています。

2) 次期業績見通し

	当期実績 2024/3	次期予想 2025/3	増減率 (%)
売上高	221,986	229,000	3.2
国内売上高	142,370	147,000	3.3
海外売上高	79,615	82,000	3.0
売上総利益 (売上総利益率)	111,346 50.2%	118,000 51.5%	6.0
営業利益 (営業利益率)	19,591 8.8%	23,000 10.0%	17.4
経常利益	25,589	23,000	△ 10.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	17,026	16,000	△ 6.0
海外売上高比率	35.9%	35.8%	

(単位:百万円)

← 為替影響除く: +5%
為替・前期決算期変更影響除く: +7%

【地域別海外売上高】

	当期実績 2024/3	次期予想 2025/3	増減率(%)
北米	37,058	38,100	2.8
中南米	6,039	5,200	△ 13.9
欧州	13,104	12,400	△ 5.4
アジア州他	23,413	26,300	12.3
海外計	79,615	82,000	3.0

- 次期の業績見通しにつきましては、連結売上高は前期比3.2%増の2,290億円、国内売上高は3.3%増の1,470億円を見込んでいます。海外売上高は3%増の820億円、為替と前期の決算期変更の影響を除くと、7%の増加を見込んでいます。
- 国内では、前期に好調だったITシステムの需要は一服する見込みですが、生体情報モニタや治療機器を中心に、需要は底堅く推移すると見えています。
- 海外では、北米および新興国での事業拡大に注力します。北米では、前期好調だったAEDの需要は一服する見込みですが、生体情報モニタとデジタルヘルスソリューションを組み合わせた提案を強化するとともに、人工呼吸器の事業拡大に取り組めます。
- 粗利率は51.5%、営業利益については、17.4%増の230億円を見込んでいます。経常利益、純利益につきましては、ご覧のとおりです。

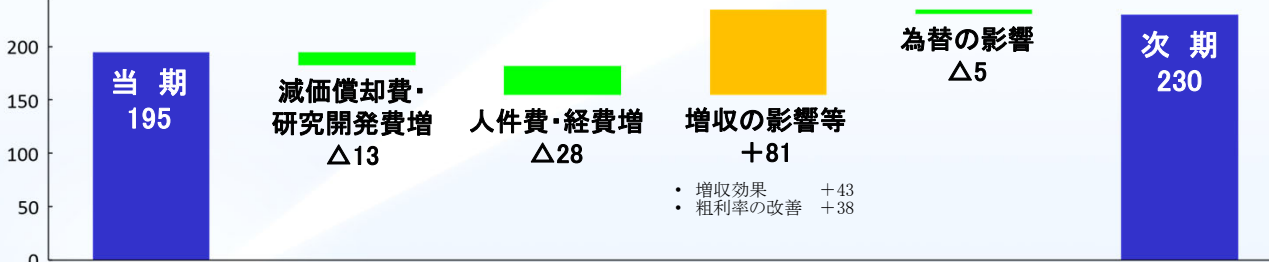
3) 次期業績見通しの要因分析

【売上高】

(単位: 億円)



【営業利益】



NIHON KOHDEN

© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

19

- 国内の病院・診療所向けは43億円、AEDは4億円増加する見込みです。AEDの販売台数は、50,000台を見込んでいます。
- 海外売上高は、40億円の実質増、為替は16億円のマイナス影響を見込んでいます。
- 営業利益につきましては、マイナス要因として、減価償却費・研究開発費は13億円、人件費・経費は28億円増加する見込みです。販管費は、賃上げ等による人件費の増加を見込んでいますが、全社収益改革プロジェクトにおいて人員生産性の向上に注力します。増収の影響等は81億円を見込んでいますが、このうち、増収効果で43億円のプラス影響、在庫評価減の減少等による粗利率の改善で38億円のプラス影響と見ています。また、為替は5億円のマイナス影響です。

[参考]商品群別売上高見通し/為替の影響

	当期実績	次期予想	構成比(%)	増減率(%)
	2024/3	2025/3		
生体計測機器	46,517	47,900	20.9	3.0
生体情報モニタ	84,130	87,200	38.1	3.6
治療機器	51,665	53,200	23.2	3.0
その他	39,673	40,700	17.8	2.6
売上高合計	221,986	229,000	100.0	3.2

(単位:百万円)

(ご参考)

医療機器	115,638	117,900	51.5	2.0
消耗品・サービス	106,347	111,100	48.5	4.5

平均レート

	当期実績 2024/3	次期予想 2025/3
1 米ドル	143.9円	140円
1 ユーロ	156.8円	150円

為替感応度の概算値(年間)

	売上高	営業利益
米ドル	4.0億円	1.2億円
ユーロ	0.6億円	0.3億円

- 商品群別の売上高見通しについては、ご覧のとおりです。
- 為替につきましては、ドルは140円、ユーロは150円と想定しています。
- 為替感応度はご覧のとおりです。

この資料に記載されている業績予想数値は、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を与える要因についての現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提としております。同数値は、市況、競争状況、新商品導入の成否など多くの不確実な要因の影響を受けます。

従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

また、この資料に含まれている製品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告を目的としているものではありません。

【担当部署】経営戦略統括部

【連絡先】Tel.03-5996-8003